

燕市障がい者自立支援協議会 活動報告と運営方針(案)について

令和5年3月14日

燕市障がい者自立支援協議会
全体会

1. 令和4年度運営方針及び重点項目

<運営方針>

◆障害者総合支援法の趣旨に基づき運営

◆燕市障がい者基本計画・燕市障がい福祉計画・燕市障がい児福祉計画に掲げた基本目標並びに成果目標の実現を目指した運営

自立支援協議会での協議事項は下記のとおり多岐にわたるため、限られた時間で有効に協議するために、令和4年度も重点項目を設定し取り組みを行った。

【重点項目】

※下記項目は計画の基本目標及び成果目標から抜粋したもの

基本目標	基本施策 (協議会で協議・検討部分)	成果目標	主な協議の場
(1)地域の中で安心して健やかに暮らせるまちづくり	①障害福祉サービスの充実 ②障がい児等支援体制の充実 ③地域生活支援事業の充実	(1)障がい児等支援の体制整備 (4)福祉施設の入所者の地域生活への移行促進 (5)地域生活支援拠点等の整備 ◎精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム	◆療育支援専門部会 ◆つばめで暮らそう専門部会 ◆つばめで暮らそう専門部会 ◆つばめで暮らそう専門部会
	④相談支援体制の機能強化	(2)相談支援体制の機能強化	◆相談支援専門部会

【重点項目】

※下記項目は計画の基本目標及び成果目標から抜粋したもの

基本目標	基本施策 (協議会で協議・検討部分)	成果目標	主な協議の場
(2)共に学び、共に働き、共に活動できるまちづくり	①雇用・就労、経済的自立支援の推進	(3)福祉的就労の充実と福祉施設から一般就労への移行促進	◆就労支援専門部会 ◆移動支援専門部会 (就労場所への移動手段など協議)
	③保育・教育体制の充実	(1)障がい児等支援の体制整備	◆療育支援専門部会
(3)支えあいにあふれ、共に生きるまちづくり	①障がいに対する理解促進		◆全体会

※基本施策の番号は、障がい者基本計画の基本施策(P26～58)に記載された番号となります。

※成果目標の番号は、障がい福祉計画・障がい児福祉計画の成果目標(P59～76)に表記された番号となります。

2. 令和4年度障がい者自立支援協議会取り組み状況

【自立支援協議会】(運営会議・全体会)

期日	内 容
8月9日	《第1回運営会議》 全体会案件協議
8月29日	【第1回全体会】 ① 地域生活支援拠点等の整備について ② 日中サービス支援型グループホームの事前評価について
10月17日	【第2回全体会】 ① 燕市に対する提言書(案)について ※緊急に対応したため、第2回運営会議は未開催
2月27日	《第3回運営会議》 全体会案件協議
3月14日	【第3回全体会】 ① 燕市障がい者自立支援協議会活動報告と運営方針(案)について ② 燕市障がい者基幹相談支援センター令和4年度の活動報告と令和5年度の事業実施計画について ③ 燕市福祉後見・権利擁護センター令和4年度の活動報告と令和5年度の事業計画実施計画について ④ 障がいを理由とする差別の解消の推進に関する取組について ⑤ 「燕市障がい者基本計画、第7期燕市障がい福祉計画、第3期燕市障がい児福祉計画策定の方向性」と「障がい福祉に関するアンケート調査(案)」について

燕市に対する提言書(案)について

ご協議いただいた燕市に対する提言書を、「障がい福祉に係る燕市への提言書」として、令和4年10月31日 燕市障がい者自立支援協議会より、燕市長宛てに提出しました。

【提言事項】

1. 地域企業の作業発注と福祉事業所の作業受注のマッチング支援
2. 新商品開発や販路開拓等への支援

皆様のおかげをもちまして、新規事業として、新年度予算案に計上することができました。

福祉的就労の支援

作業受委託マッチング促進事業 新
(地域生活支援事業)
【予算額】 220万円 (予算書P.91)

障がい福祉サービス事業所の作業受注と、企業の作業発注とのマッチング等を支援し、受発注量の増加や工賃アップを図ります。

◆マッチング業務

◆アドバイザー業務

【担当課】 社会福祉課



授産品新商品開発・販路開拓等支援補助金 新
(地域生活支援事業)
【予算額】 150万円 (予算書P.93)

障がい福祉サービス事業所の売上拡大を支援するため、授産品の新商品開発や新たな販路の開拓等に係る経費の一部を補助します。

◆補助率：1/2

◆限度額：50万円

【担当課】 社会福祉課



【各専門部会】

相談支援専門部会		療育支援専門部会	
部会長	相談支援事業所ひまわり 相談支援専門員 永桶 沙織	部会長	きららおひさまこども園 園長 宮路 絵里
成果目標	(2)相談支援体制の機能強化	成果目標	(1)障がい児等支援の体制整備
今年度の 取組・評価	【部会開催日時】 ・令和4年7月22日(金)午後1時30分～3時30分 ・令和4年11月25日(金)午前10時～12時 ・令和5年1月19(木)午前9時30分～12時 【内容・取組】 ①サービス事業所の空き状況の把握・共有 ②「障がい児支援」に関する勉強会の実施 ③相談支援事業の地区担当制の検討 ④サービスガイドブックの更新作業 【結果・評価】 ①空所状況の把握・共有のため「空き状況把握シート」を作成。 ②「障がい児支援利用計画」作成に関する苦手意識の克服や関係機関との連携強化。 ③「実態把握調査」を実施し現状を把握、課題を整理。 ④ガイドブックホームページ更新	今年度の 取組・評価	【部会開催日時】 ・令和4年6月24日(金)午後1時30分～3時 ・令和4年11月7日(月)午後3時～4時30分 ・令和5年1月24日(火)午後1時30分～3時 【内容・取組】 ①障害児通所支援事業所情報交換会 日時:令和4年9月22日(木)、11月14日(月)、令和5年2月2日(木) 内容:情報共有、解決へのアイデア出し、部会への提案 ②早期支援を考えるための研修 日時:令和5年1月24日※部会同日開催 内容:「療育館プロモーションビデオから早期支援について学ぶ」 対象:部会委員 【結果・評価】 ・早期発見から早期支援に繋がるまでの難しさの共有 ・障害児通所支援事業所間の横のつながり強化 ・早期支援についての学び
	【今年度の活動から見えた課題】 ・「障がい児支援」に関する関係機関との更なる連携強化の取組や知識習得が必要。(保育・教育分野など) ・地区担当制を検討するにあたって、現状の相談支援事業のデメリットを払拭する取組や地域診断等が必要。 【次年度の取組(案)】 ・サービス事業所の空き状況等の把握・共有(継続) ・「障がい児支援」に関する勉強会の実施(継続) ・相談支援事業の地区担当制の検討(継続) ・サービスガイドブックの更新作業(継続)		【今年度の活動から見えた課題】 ・市内の障害児通所支援事業所で実施している療育支援内容について共有が必要。 ・保健、保育、教育、福祉のさらなる連携が必要。 ・子どもの成長を「線」で捉え、適切な時期に適切な支援が届けられるような仕組みづくり。 【次年度の取組(案)】 ・事例検討会 ・早期支援を考えるための研修会 ・障害児通所支援事業所情報交換会

【各専門部会】

就労支援専門部会		つばめで暮らそう専門部会	
部会長	燕・西蒲原福祉会 ワークセンターやすらぎ 管理者 飯塚 美和	部会長	燕・西蒲原福祉会 地域生活支援センターやすらぎ 管理者 平林 昌子
成果目標	(3)福祉的就労の充実と福祉施設から一般就労への移行促進	成果目標	(4)福祉施設の入所者の地域生活への移行促進 (5)精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム (6)地域生活支援拠点等の整備
今年度の 取組・評価	【部会開催日時】 ・令和4年6月20日(木) 午前10時～午前11時30分 ・令和4年9月5日(月)～20日(火)(書面会議) ・令和5年1月31日(火) 午前10時～午前11時30分 【内容・取組】 ・新商品開発・販路開拓セミナー ・就労系障がい福祉サービス事業所見学会(オンライン) ・つばめアールブリュット×ものづくり展 ・つばめバリアフリーフェス 【結果・評価】 ・自主製品の売り上げ向上 ・福祉事業所と企業の相互理解促進・連携強化 ・企業側からの問い合わせ増加	今年度の 取組・評価	【部会開催日時】 ・令和4年6月17日(金) 午後3時30分～5時 ・令和4年12月1日(木) 午後3時30分～5時(オンライン開催) ・令和5年2月1日(水) 午後3時45分～5時 【内容・取組】 ①病院職員向けの勉強会の開催 ②桃梨園など地域移行関連事業所のオンライン見学 ※R4.7.5 令和4年度「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築研修会(市町村編)」で実践報告 ※R5.1.20 第163回市町村職員を対象とするセミナー「市町村における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進するための研修」で実践報告 【結果・評価】 ・地域生活支援拠点等の整備(令和5年4月1日より本格的な運用開始) ・退院に向けた精神科病院スタッフとの連携強化(制度や社会資源の理解)
	【今年度の活動から見えた課題】 ①作業受委託の成約率を向上させため、企業側への一層の周知や、契約までの事業所サポートが必要。 ②価格決定権のある自主製品は工賃向上に寄与するが、ノウハウやマンパワー不足から商品や販路の見直しが進んでいない。支援が必要。 【次年度の取組(案)】 ①作業受託に係るマッチングサポート ②自主製品の改良、販路開拓支援		【今年度の活動から見えた課題】 ・高齢分野との連携(介護保険の対象とならない65歳以上の方の支援など) 【次年度の取組(案)】 ・高齢分野との連携をテーマとした取組の企画・立案
次年度の課題・取組(案)		次年度の課題・取組(案)	

【各専門部会】

移動支援専門部会

部会長	相談支援事業所つばくろ 相談支援専門員 樋口 祐亮
成果目標	(3)福祉的就労の充実と福祉施設から一般就労への移行促進
今年度の取組・評価	【部会開催日時】 ・令和4年7月28日(月)午後2時～3時30分(オンライン会議) 【内容・取組】 ・燕市精神障がい者作業訓練施設等通所経費助成事業についての検討 【結果・評価】 ・燕市精神障がい者作業訓練施設等通所経費助成事業の対象者が限定されていること、料金単価が施行当時のままであること等から、事業内容の見直しを行う。
次年度の課題・取組(案)	【今年度の活動から見えた課題】 ・平成23年4月の施行から約10年経過し、精神障害者保健福祉手帳所持者も使える制度が徐々に増えてきた。 【次年度の取組(案)】 ・移動に関する意見・情報提供から、引き続き課題の整理を行う。

令和5年度運営方針(案)

- ◆障害者総合支援法の趣旨に基づき運営
- ◆燕市障がい者基本計画・燕市障がい福祉計画・燕市障がい児福祉計画に掲げた基本目標並びに成果目標の実現を目指した運営

3. 令和5年度重点項目(案)

限られた時間で有効に協議するために、計画の基本目標及び成果目標から、**重点項目を以下のとおり設定**し、取組を進めます。

【重点項目】

※下記項目は計画の基本目標及び成果目標から抜粋したもの

基本目標	基本施策 (協議会で協議・検討部分)	成果目標	主な協議の場
(1)地域の中で安心して健やかに暮らせるまちづくり	①障害福祉サービスの充実 ②障がい児等支援体制の充実 ③地域生活支援事業の充実	(1)障がい児等支援の体制整備 (4)福祉施設の入所者の地域生活への移行促進 (5)地域生活支援拠点等の整備 ◎精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム	◆療育支援専門部会 ◆つばめで暮らそう専門部会 ◆全体会、つばめで暮らそう専門部会 ◆つばめで暮らそう専門部会
	④相談支援体制の機能強化	(2)相談支援体制の機能強化	◆相談支援専門部会

【重点項目】

※下記項目は計画の基本目標及び成果目標から抜粋したもの

基本目標	基本施策 (協議会で協議・検討部分)	成果目標	主な協議の場
(2)共に学び、共に働き、共に活動できるまちづくり	①雇用・就労、経済的自立支援の推進	(3)福祉的就労の充実と福祉施設から一般就労への移行促進	◆就労支援専門部会 ◆移動支援専門部会 (就労場所への移動手段など協議)
	③保育・教育体制の充実	(1)障がい児等支援の体制整備	◆療育支援専門部会
(3)支えあいにあふれ、共に生きるまちづくり	①障がいに対する理解促進		◆全体会

※基本施策の番号は、障がい者基本計画の基本施策(P26～58)に記載された番号となります。

※成果目標の番号は、障がい福祉計画・障がい児福祉計画の成果目標(P59～76)に表記された番号となります。

令和5年度スケジュール(予定)

期日	全体会
4月	
5月	
6月	【上旬】運営会議 【下旬】全体会(第1回) ・アンケート調査案 等 ※調査内容に変更が生じた場合に開催
7月	
8月	
9月	【上旬】運営会議 【下旬】 全体会(第2回) ・現計画進捗報告、次期計画案 等
10月	運営会議 全体会(第3回) ・計画案中間報告 等
11月	
12月	
1月	【上旬】運営会議 【下旬】 全体会(第4回) ・計画案最終報告 ・協議会運営方針(案) 等
2月	
3月	

燕市障がい者自立支援協議会体制図(案)

